



あったかハートなお手紙

23



～未来をつくる 素敵な山内小学校のみなさんへ～

6月1日から、学校が始まります。本当に長い、長い、長い……長～い お休みでした。長い休みといえば夏休み。今日は、校長先生が子どもころの夏休みについて書いてみます。

【夏休みの宿題 ◎“夏休みの友” ×課題（読書感想文他）】

「〇月〇日まで」と締切が決まっている課題が出たとしましょう。さあ、みんなはどのタイプ？

- ① () 計画を立て、毎日コツコツとやっています！
- ② () ロケットスタート！ もう“いやなこと！”はさっさと先に終わらせます！
- ③ () 本当は①や②になりたい。でも…“いやなこと！”は後回しに…

校長先生の生まれた福島県では、夏休みに「夏休みの友」という問題集みたいなものが配られていました。本当は①のように、毎日2ページくらいずつ進めていくものだったのですが、当時の校長先生は②タイプ。つまり、最初にドーンとロケットスタート。記憶では2日くらいで終わらせていたように思います。



でも、読書感想文や絵などの課題は③タイプ。「まだ3週間ある→2週間ある」「ん？大丈夫、1週間あれば…」はずかしいけど、残念な③タイプでした。ほんと最後の日に10時間くらいかけて仕上げたこともあったかな…。(その集中ぶりをみたおばあちゃんが、めちゃくちゃほめてくれてたことも覚えています。残念な③で、最後の最後の…どうしようもない頑張りなのにね…)

【オニヤンマ・スイカ…そして、今とは違う時間の進み方】

では、さっさと「夏休みの友」を終わらせた校長先生は何をしていたのでしょうか。「今日のお昼はぼくが作るよ！」などといって、そうめんとかゆでていたことを覚えています。あとは、家のまわりが大自然だったので、オニヤンマを追いかけたり、裏の畑にできたスイカを取って食べたり。記憶はそんな感じです。今とはかなり違うように思います。そう。世の中が今とはまるで違う。今あってないものをあげると…「パソコン」「スマホ」「インターネット」「ゲーム機」「ビデオ(テレビ録画)」…。本当に、今よりゆっくりと時間が過ぎていたのでしょうか。



【それでも、終わりは来る・・・学校再開！山内小学校らしく】

そんな“ゆっくり夏休み”にも終わりは来ます。ここから先は、今も変わらない。やはり夏休み？ いやゴールデンウィーク？ いやいや毎週日曜日の夕方とか、今でも、休みの終わりはさみしいものです。そして“あ～あ学校(仕事)だなあ”って、思ってしまう。おそらく、校長先生だけではないでしょう。みんなのお父さんもお母さんも同じじゃないかな。

さて、来週から学校です。久しぶりの登校です。『楽しみ！』と思う反面、『めんどうだな』とか『心配だな』なんて思うかもしれません。当然です。大人でも思います。でもね、安心して。「あったかハート」な山内小学校です。みんなの登校をあたたく迎えますよ。まっていますよ!!